

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 松江市立大野小学校 ～

1.概要

6月2日(木)に心に残る文化財子ども塾『はにわ作り体験と松江市の古墳文化』を実施しました。

はじめに古墳に行ったことがあるかどうか尋ねたところ、ほとんど行ったことがないことがわかり、非力さを痛感しました。そして、松江市内の古墳、特に古曾志大谷 1 号墳や丹花庵古墳、塚山古墳など、市内で復元整備されている古墳について詳しく説明しました。また、埴輪の種類や目的について説明しました。

次に古曾志大谷 1 号墳から出土した円筒埴輪と須恵器に触れて見ました。はじめて遺物に触れたという児童ばかりで、こわごわ触れて手触りや円筒埴輪の重さを実感していました。

つづいて、埴輪作りを始めました。土台となる芯に粘土を巻き付けるところは苦勞していましたが、そこからは個性豊かなオリジナルの埴輪のほか、巫女形埴輪を熱心につくっていました。

2. 活動の様子



はにわづくりに挑戦しています



イメージしたようにつくれるかな？



あと一工夫！



完成しました！

3.子ども塾を終えて

1.児童の皆さんから

【心に残ったこと】

- ・埴輪の種類におどる埴輪だけでなく馬や人の形の埴輪があることがわかった
- ・埴輪にはとても小さなものから大きなものまであったこと。馬の形の埴輪が意外に大きかったこと。
- ・埴輪を作ったこと。(複数)
- ・最初は難しいかと思っていたが楽しかった。埴輪の種類もわかった。
- ・踊る埴輪を作ったこと。

【もっと知りたいこと】

- ・いろいろな形の土器を作りたい。(複数)
- ・他にもどんな埴輪があるか知りたい。(複数)
- ・もっと埴輪について知りたい。
- ・古墳を実際に見てみたい。

2.担任の先生から

- ・地元松江市の遺跡を知ることができた。また、埴輪に対する興味が深まった。

3.埋文センターから

古墳の丘古曾志公園に行ったことがない、という児童が少なくなかったことは残念でしたが、市内にある復元整備された古墳を紹介し、古墳が身近な存在であることを紹介できました。また、埴輪の目的について児童が自分たちで考えた案を説明した際は、視点の良さに感心したり鋭さを感じることがありました。完成した埴輪はどれも個性的で、よく特徴をつかんでいるものでした。